

まだまだ寒い日が続きますが、陽ざしの暖かさに春を感じて、心も温かくなります。3月は、今年度のまとめの時期です。あっという間の1年でしたが、運動場で遊んでいる子どもたちの姿を見ていると、確実に、各学年とも大きく成長したなど実感します。そして、3月18日は第5期生の卒業式です。5年生の在校生が参加し、あとを引き継ぎます。保護者の皆様には、この1年間本校の教育活動にご理解ご協力いただき、感謝しております。

あいさつする子
しっかり学ぶ子
たのしく遊ぶ子

新1年生の体験入学 2/17

約120人の来年の1年生が体験入学をしました。1年生と一緒にヨーヨーを作ったり、学校めぐりをしたりしました。

1年生の体験入学ニュースより

○きょう、ほいくしよの子といっしょにたいけん入学をしました。ちょっとつかれたけど、手をつないだりして、おねえちゃんになれたきぶんでした。だから、めあての「たのしくすごそう」をまもれてよかったです。ほいくしよの子は、はじめはきんちょうしていたけど、そのあとからすくなかよしになりました。どんどんなかよしになって、うれしいことがふえました。また、あいたいなおもいました。



○せきにすわらせてあげて、じこしょうかいをして、きょうしつやノートを見せてあげました。ランドセルをせおわせてあげたり、学校めぐりをしたりして、けん玉づくりをしました。できあがったら、あそんで、たのしいといってくれて、とてもうれしかったです。また、きてほしいです。大わらいしてあそびたいです。

○豊かな心を育みます 2/19

なかよし学習発表会

第三中学校区・第四中学校区の6つの小中学校の支援学級のお友だちが、木島小学校に集まって、太鼓演奏やダンス、オルガン演奏、皿回し、ペープサート劇などを発表しました。どの学校もしっかり練習してきたことがわかる、素晴らしい発表でした。東山小学校も、「ぼんたのじどうはんばいき」のペープサート劇を、しっかり発表できました。



○豊かな心を育みます 2/12

異学年交流ができる東山まつり

児童委員会の取組で、2～6年生までが、自分たちで考えたお店やコーナーを出し合いました。また、1年生は、保幼小連携の一環として幼児さんたちを招いて一緒に各店をまわりました。



当日までの準備や他学年との交流が子どもたちに企画力や協調性、コミュニケーション力を培います。子どもたちは店番をしたり、お客さんになりながら、楽しみました。



○健やかな体を育みます 2/20

緊張したマラソン大会

一周150mのトラックを1・2年生が4周、一周187mのトラックを3・4年生が約6周半、5・6年生が約9周半走るマラソン大会に、多くの保護者の方が応援に来てくださり、ありがとうございました。一人ひとりに様々なドラマがありました。精一杯がんばる姿をみせてくれたと思いました。



○一番心に残っている思いは、くやしい思いでした。なぜなら、せっかく練習したのに、スタートしてすぐにこけてしまったからです。くやしくて、泣きながら走りました。でも、お母さんが、「がんばれ～」と必死になっておうえんしてくれたから、ゴールまでいけたと思っています。今すぐ、お母さんに「ありがとう」と伝えたいです。

○豊かな心を育みます ○確かな学力の向上に努めます 2/13

お別れ遠足 緊張しながら電車に乗車 6年

6年生が班ごとに目的地までの行程を調べ、現地集合するお別れ遠足の日、緊張しながら、無事、終えることができました。切符売り場で迷ったり、どちらのプラットホームが正しいのか悩んだりして、予定通りの電車に乗れなかった経験などは、大変貴重でした。この行事は、保護者の皆様のご理解、ご協力があったからこそできた行事です。本当にありがとうございました。



○豊かな心を育みます

高齢者の方々との交流 5年 2/9・16

5年生が総合的な学習の時間に、「りぶりー」で福祉施設の見学や高齢者の方々との交流をさせていただきました。

○りぶりーには、高齢者の方のために、手すりがたくさんついていました。エレベーターが広く、ボタンも上下についていました。お風呂もいすにすわったままお湯につかれる工夫がありました。りぶりーで働く人は、おじいさん、おばあさんに聞こえるように大きな声で話していました。全部、高齢者の方が生活しやすいようにするためのだとうかりました。

○出し物をするのは、きんちょうしました。でも、みんな真剣に見てくれたり、聞いてくれたりしたので、やりやすかったです。一番楽しかったのは、お年寄りの人としゃべったことです。何よりうれしかったのは、マジックをするときに「がんばれ」と言ってくれたことです。この言葉は心に残っています。帰るときにハイタッチしたのも覚えています。また、会いたいと思いました。



○健やかな体を育みます 2/19

飲酒防止教育の取組を発表

三中校区小中連携推進会議の取組の一環として、4校の小中学校の養護教諭が研究を重ね、飲酒防止教育の授業づくりに取り組んでいます。葛城小学校と本校の養護教諭が三中校区を代表して、その実践を泉南地区保健主事・養護教諭研究協議会で発表しました。小学2・4・6年生と中学生全員に実施している「三中校区生活アンケート」の結果から、飲酒経験が全国平均より高いことがわかり、飲酒についての正しい知識を小学6年生で学べるように、取り組みました。書籍やインターネット、酒造会社などからの資料を集めたり、三中校区のどの小学校でも同じ授業をするためにパワーポイントやクイズを活用した指導案を作成したりした授業づくりに、参加者から肯定的な評価をいただきました。